

福生 高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 公民 科目 政治・経済

教科： 公民 科 目： 政治・経済 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年 1 組～ 7 組

使用教科書： （ 高等学校 政治・経済 数研出版 ）

教科 公民 の目標：

- 【知識及び技能】 選択・判断の手掛かりとなる概念や理論及び倫理、政治、経済などに関わる現代の諸課題について理解するとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論している。
- 【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、人間としての在り方生き方についての自覚や、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

科目 公民 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解する。 ・諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめることができるようにする。	・現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を身に付ける。	・よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決する態度を養う。 ・多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚、国民主権を担う公民として各国民が協力し合うことの大切さの自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	第1章 現代の政治 第1節 民主政治とその基本原理 法の支配や立憲主義の考え方が成立した近代政治の過程や、それらの考えの基に憲法が定められ、国民の自由や権利が保障されていることについて理解を深めている。 また、国際連合により採択された世界人権宣言、国際人権規約などの人権文書の意義を踏まえ、人権擁護は人類共通の課題であるという認識が世界的に広まっていることについての理解を深めさせる	・指導事項 1 政治の意義 2 政治と国家 3 絶対王政と市民革命 4 社会契約説	【知識・技能】【思考・判断・表現】統計データ・新聞・原典資料・芸術作品などからの読み取り、ワークシート、小テスト 【主体的な態度】ディスカッション、プレゼンテーション、レポート	○	○	○	5
	第1章 現代の政治 第2節 日本国憲法と基本的人権 基本的人権の尊重について、現実社会の諸事象を通して理解を深めている。特に、公共の福祉に関し、人権は侵すことのできない永久の権利であるものの無制限に認められるわけではなく、他者の人権保障のために制約される場合があることについて理解を深めさせる。	・指導事項 1 日本国憲法の基本的性格 2 基本的人権の保障 3 日本国憲法の平和主義	【知識・技能】【思考・判断・表現】ケーススタディ、新聞などからの読み取り、ワークシート、定期テスト 【主体的な態度】ディスカッション、プレゼンテーション、レポート	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1

年間授業計画

福生 高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 公民 科目 政治・経済

教科： 公民 科目： 政治・経済 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年 1 組～ 7 組

使用教科書： （ 高等学校 政治・経済 数研出版 ）

教科 公民 の目標：

【知識及び技能】 選択・判断の手掛かりとなる概念や理論及び倫理、政治、経済などに関わる現代の諸課題について理解するとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論している。

【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、人間としての在り方生き方についての自覚や、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

科目 公民 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解する。 ・諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめることができるようにする。	・現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を身に付ける。	・よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決する態度を養う。 ・多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚、国民主権を担う公民として各国民が協力し合うことの大切さの自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
第1章 現代の政治 第3節 日本の政治機構 議会制民主主義が、理念的には権力分立制の下、国民代表制と多数決の原理に基づく議会を通じて運営されていることを、現実社会の諸事象を通して理解を深めさせる。	・指導事項 1 国会のしくみと役割 2 内閣と行政機構 3 裁判所のしくみと人権保障 4 地方自治のしくみと住民生活	【知識・技能】【思考・判断・表現】原典資料・著作物などからの読み取り、ワークシート、小テスト 【主体的な態度】ディスカッション、レポート	○	○	○	8
第1章 現代の政治 第4節 政治参加と民主政治の課題 戦後政治と政党について、戦後政治の推移を、55年体制の成立と崩壊の過程であることについて理解を深めている。また、政党が同じ政治上の主義・主張を有する者により組織され、政策を示し、選挙を通して多くの人々の合意を得て政権を獲得しそれを実現しようとする団体であり、議会制民主主義の運営上欠くことのできないものであることについて理解を深めさせる。	・指導事項 1 戦後政治と政党 2 選挙制度のしくみ 3 世論と情報化社会	【知識・技能】憲法・原典資料などからの読み取り、ワークシート、定期テスト 【思考・判断・表現】【主体的な態度】ディスカッション、レポート	○	○	○	7
定期考査			○	○		1
第2章 現代の経済 第1節 経済活動の意義と経済体制 経済主体と経済循環について、現実社会の諸事象を通して理解を深めている。特に、家計の役割については、家計は所得の制約の中で消費や貯蓄を行い、労働を企業に供給していること、消費と貯蓄が企業の生産や投資と密接に関連していることを理解している。企業の役割については、企業が家計や他の企業から提供された土地、労働、資本といった生産要素を結合し生産活動を行うことを理解している。政府の役割については、現代の政府が、家計や企業の経済活動に委ねることの困難な部門を引き受けていること、資源の配分、景気変動の調整、所得や資産分配の不平等を是正するなどの役割を果たしていることを理解している。また、政府以外に特定非営利活動法人（NPO法人）などの新たな経済主体が生まれていて、経済循環が複雑、多様化していることを理解させる。	・指導事項 1 資本主義経済の発展と変容 2 経済活動の主体	【知識・技能】憲法・人権諸条約・新聞などが	○	○	○	7
第2節 現代経済のしくみ 市場経済における、経済活動と市場の働きと仕組みについて、現実社会の諸事象を通して理解を深めている。特に、代表的な経済学者の考え方や市場構造の変動、具体的な市場における価格形成の事例の考察を通して理解を深めさせる。	・指導事項 1 市場経済のしくみ 2 国民所得と経済成長 3 金融のしくみと働き 4 財政のしくみと租税	【知識・技能】新聞などからの読み取り、ワー	○	○	○	4
定期考査			○	○		1

年間授業計画

福生 高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 公民 科目 政治・経済

教科： 公民 科目： 政治・経済 単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 7 組

使用教科書：（ 高等学校 政治・経済 数研出版 ）

教科 公民 の目標：

【知識及び技能】 選択・判断の手掛かりとなる概念や理論及び倫理、政治、経済などに関わる現代の諸課題について理解するとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論している。

【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、人間としての在り方生き方についての自覚や、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

科目 公民 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解する。 ・諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめることができるようにする。	・現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を身に付ける。	・よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決する態度を養う。 ・多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚、国民主権を担う公民として各国民が協力し合うことの大切さの自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
2 学 期	第3節 日本経済と福祉の向上 戦後日本経済のあゆみについての学習を通して、経済活動と福祉の向上との関連について、取り上げた課題の解決に向けて政治と経済とを関連させて多面的・多角的に考察し、表現することができるようにする。	・指導事項 1 戦後日本経済のあゆみ 2 中小企業と農業・食料 3 公害防止と環境保全 4 消費者問題と消費者保護 5 労使関係と労働市場 6 少子高齢社会と社会保障	【知識・技能】憲法・新聞などからの読み取り、ワークシート、小テスト 【主体的な態度】【思考・判断・表現】ディスカッション、模擬活動（模擬国会や模擬裁判など）	○	○	○	4
	第3章 国際政治のしくみと役割 ・国際社会の変遷、人権、国家主権、国際法の意義、国際連合をはじめとする国際機構の役割について理解させ、国際社会が抱える課題を考察させる。 ・冷戦後の国際社会の変化、冷戦後の軍縮や核兵器廃絶などに関する国際的な取り組みについて理解させ、グローバル化が進展する国際社会の在り方や課題を多角的・多面的に考察する。	・指導事項 1 国際政治の成り立ち 2 国際連合の設立とその役割 file17 国際連合の主要機関と課題 3 冷戦とその終焉 4 軍縮と安全保障 5 リージョナリズム 6 グローバル化と国家	【知識・技能】国連・外務省資料や新聞などからの読み取り、ワークシート、小テスト 【思考・判断・表現】【主体的な態度】ディスカッション、模擬活動（模擬国連など）	○	○	○	4
	第3編 現代の民主政治と社会参画 第4章 国際政治の現状と課題 ・現代の国際紛争の諸要因について理解させ、その対立を解消するために、多文化共生の観点から調整し協調することが国際政治に必要とされることを理解させる。 ・平和主義と国際協調の立場から、日本の安全保障や国際貢献の在り方について多面的・多角的に考察させる。	・指導事項 1 現代の紛争 file18 パレスチナ問題について考えよう 2 多文化・多民族社会に向けて 3 移民と難民 file19 難民問題 4 日本の戦後外交と課題 file20 原爆の記憶とその継承	【知識・技能】国連・外務省資料や新聞などからの読み取り、ワークシート、定期テスト 【思考・判断・表現】【主体的な態度】ケーススタディ、ディスカッション、レポート	○	○	○	4
	第4編 現代の経済社会と国民生活 第1章 私たちと経済活動 ・私たちの生活における経済の役割について理解させる。その際、消費者の権利と責任、職業選択、マクロ経済などについての基本的な知識を身につけさせ、経済活動と福祉の向上との関連について多面的・多角的に考察させる。	・指導事項 1 私たちと経済 file21 消費者の権利と責任 2 仕事と社会 file22 学びの力 3 国民経済とGDP	【知識・技能】新聞などを使ったワークシート、小テスト 【思考・判断・表現】【主体的な態度】ケーススタディ、ディスカッション、レポート	○	○	○	3
	定期考査			○	○		1

福生 高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 公民 科目 政治・経済

教科： 公民 科目： 政治・経済 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年 1 組～ 7 組

使用教科書： （ 高等学校 政治・経済 数研出版 ）

教科 公民 の目標：

- 【知識及び技能】 選択・判断の手掛かりとなる概念や理論及び倫理、政治、経済などに関わる現代の諸課題について理解するとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論している。
- 【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、人間としての在り方生き方についての自覚や、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

科目 公民 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解する。 ・諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめることができるようにする。	・現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を身に付ける。	・よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決する態度を養う。 ・多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚、国民主権を担う公民として各国民が協力し合うことの大切さの自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
3 学 期	第4編 現代の経済社会と国民生活 第2章 経済社会のしくみと役割 ・市場経済の機能、金融や財政の仕組みについて理解させ、その役割と課題について多面的・多角的に考察させる。 ・現代の企業の仕組みと特色を理解させ、企業統治や企業の社会的責任などについて考察させる。 ・日本経済の歩みを通して、公害、環境保全、雇用と労働問題、少子高齢化における社会保障の課題について、社会的な見方・考え方を総合的に働かせ、多面的・多角的に考察させる。	・指導事項 1 社会のしくみとしての市場 2 市場の機能 file23 需要曲線・供給曲線 file24 経済を考える視点 市場 経済の歴史 3 市場の限界 4 金融とそのはたらき 5 財政とそのはたらき file25 日本経済のあゆみ 6 現代の企業 file26 もしも会社をつくるなら file27 公害の防止と環境保全 7 労働問題 8 社会保障の役割 9 少子高齢化と財政の維持可能性	【知識・技能】新聞などからの読み取り、ワークシート、小テスト 【思考・判断・表現】【主体的な態度】ケーススタディ、ディスカッション、プレゼンテーション、模擬活動（模擬投資、模擬起業など）	○	○	○	7
	第4編 現代の経済社会と国民生活 第3章 国際経済の現状と課題 ・国際経済についての基本的な知識を身につけさせ、グローバル化する経済が抱える課題について多面的・多角的に考察させる。また、その課題解決には国際協調や自他の文化や宗教などを尊重する相互理解と寛容の態度が必要であることを理解させる。	・指導事項 1 国際取引引きと国際収支 2 自由経済とグローバル化 file28 外国為替と円高・円安 3 国際経済のこれから file29 国際経済と新興国 file30 限りある資源とエネルギー	【知識・技能】統計データ・新聞などからの読み取り、ワークシート、小テスト 【思考・判断・表現】【主体的な態度】ケーススタディ、ディスカッション、レポート	○	○	○	4
	第5編 持続可能な社会をつくる課題編 とともに生きる社会をめざして ・これまでの学習を基礎に、人工知能・環境・資源・少子高齢化・地域社会について、「幸福」「正義」「公正」などの観点から課題を見出し、その解決策を多面的・多角的に考察させる。 ・持続可能な社会づくりを担う、公共の精神をもった自立した主体として、主体的に社会に参画し、共に生きる社会を築くという姿勢を身につけさせる。	・指導事項 Theme 1 人間は人工知能（AI）とどのように共存すればよいか？ Theme 2 何のために環境を守るのか？ Theme 3 食料と水資源の配分をどう考えるか？ Theme 4 少子高齢化と社会保障の問題を考える Theme 5 地域とつながり、地域に生きる、地域社会との接点	【知識・技能】統計データ、著作物、新聞などからの読み取り、ワークシート 【思考・判断・表現】【主体的な態度】ケーススタディ、ディスカッション、プレゼンテーション、レポート	○	○	○	6
							合計 75